

児童数 (令和4年6月1日現在) (人)

学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
男子	5	5	4	5	7	5	31
女子	3	4	5	6	3	2	23
合計	8	9	9	11	10	7	54



奥多摩町イメージキャラクター わさぴー

教職員

学校の沿革

明治初年の頃	氷川・海沢・小菅・日原・境の各地区に寺子屋	昭和 34.4	海沢分校廃し、本校に統合
6年月日不詳	氷川の武蔵屋を校舎として学校が開設 校名<第1大学区神奈川県管内第8中学区多摩郡氷川村第219番小学育英学校>	36.4	日原小学校独立
6~8年10年	境・日原・海沢に学校が開校 校名変更<氷川小学校>	37.4	境分校を廃し、本校に統合
34.4	境・日原・海沢を統合し分校設置	39.4	小菅分校廃し、本校に統合
35.1	小菅分教場設置	48.1	創立100周年新校舎
大正 3.2	道所分教場設置	53.4	道所分校を廃し、本校に統合
昭和 2.10	現在地(氷川278番地)に校舎を新築	平成 6.4	日原小学校を廃し、氷川小学校に統合
30.4	町村合併<奥多摩町>となる	14.10	「氷川獅子」創作 運動会で発表
31.4	校名変更<奥多摩町立氷川小学校>	16.4	小河内小学校を廃し、氷川小学校に統合
	校歌制定	23.8	校舎木質化工事~27.8
		27.4	通級指導学級「あおぞら」開級

教室配置図

3F	音楽室	準備室	6年	5年	PC室	算教	数室	4年	3年	準備室	多目的室		
		準備室	図画室	1年	2年	調べ学習室 児童会室	図書室	支援教室 あおぞら	準備室	家庭科室			
2F	図工室	準備室	図画室	1年	2年	調べ学習室 児童会室	図書室	支援教室 あおぞら	準備室		家庭科室		
		準備室	図画室	1年	2年	調べ学習室 児童会室	図書室	支援教室 あおぞら	準備室	家庭科室			
1F	学童 保育室	相談室	事務室	昇降口	応接室	校長室	主事室	職員室	放送室		保健室	昇降口	準備室
		相談室	事務室	昇降口	応接室	校長室	主事室	職員室	放送室	保健室	昇降口	準備室	理科室

令和4年度

学校要覧



奥多摩町の花 ミツバツツジ



東京で最も西にある学校
東経 139° 5' 50"

東京で最も高い所にある学校
標高 350m

東京で最も学区の広い学校
約 181.7 km²

校歌

作詞 神保光太郎
作曲 佐々木すぐる

一 呼んでいる 呼んでいる
朝日をあびて 山々は
元気に行こうと 呼んでいる
たがいにくたえる 友とわれ

二 教える 教える
鏡の流れ 多摩川は
たゆまず磨けと 教える
たがいにはげます 友とわれ

三 伸びて行く 伸びて行く
青空めざし 杉の子は
立派になろうと 伸びて行く
たがいにくたえる 友とわれ

氷川 氷川 小学氷川
日本の希望 輝く未来

おくたまちょうりつひかわしょうがっこう
奥多摩町立氷川小学校



〒198-0212
東京都西多摩郡奥多摩町氷川278番地
TEL (0428) 83-2514 FAX (0428) 83-2118
JR青梅線 奥多摩駅より徒歩5分
ホームページURL <https://www.rlco.jp/hikawasyo/>

学校HP



通いたい、通い続けたい、通わせたい、地域に愛され、地域の誇りとなる学校

奥多摩町立氷川小学校 学校教育目標

仲よくやさしい子
共感力・協働力・協調性

多様な感じ方・考え方を受け入れる指導
集団での解決や目標達成を図る指導
集団の一人としての役割を自覚させる指導

自ら進んで学ぶ子
課題解決力・開拓力・主体性

基礎・基本の定着を図り、学び方を身に付けさせる指導
目的を明確にして、見通しをもたせる指導
「できた」「分かった」を大切に指導

健康で明るい子
体力・健康維持力・自律性

体を動かすことを習慣化させる指導
心身共に健康であり続けるための指導
メタ認知を促す指導

特色ある教育活動



代表委員会

本校伝統の「氷川小コール」は児童集会の度に唱えます。「A 明るく、N 仲よく、T 楽しく、…」4つめは、その年重点的に取り組むことを話し合い、決めています。自分たちの課題を改善していくための目標設定が、自治能力を高めることにつながっています。

ALT

本校はALTが常駐のため、外国語科・外国語活動の授業だけでなく、たくさんの教育活動に携わることができ、休み時間に一緒に遊んだり、他教科の授業に加わったりしています。日常的に英語に慣れ親しんでいます。



氷川獅子

総合的な学習の時間に、地域の伝統文化として継承されている獅子舞を学び、運動会では「氷川獅子」として舞を披露します。各学年役割に応じた取組を積み重ね、本校の伝統として在校生に受け継がれています。



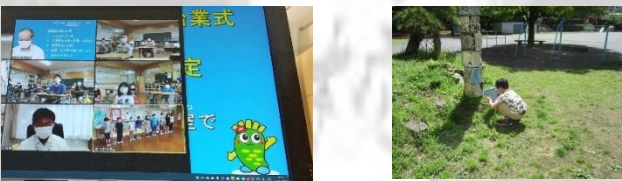
クラブ活動

クラブ活動のめあてを示し、特別活動としての意味、異学年交流としての意味を理解させた上で、取り組んでみたいことを提案させ、児童の話合いで活動の内容を決め、2回のお試しクラブで検証した後、本決定されたものに取り組んでいきます。



たて割り班

全校児童を4つの縦割りの班に分け、日々の清掃活動や学校行事に取り組ましています。異学年交流が盛んに行われ、自然に上級生が下級生の面倒を見るという姿勢が養われます。前期・後期と2期に分けて班編成を行い、できるだけ多くの関りがもてるよう工夫しています。



ICT 積極活用

一人に1台ずつタブレット端末が貸与され、様々な教育活動で活用しています。カメラ機能を使った自然観察、プレゼンテーションソフトを使った発表など、自ら操作することでデジタル技能が向上しています。災害時やコロナ禍での授業配信にも積極的に取り組んでいます。

自然との関わり、人との関わり、教材との関わりを大切に、体験を通して学ばせることで、学びの楽しさを実感させ、学び続ける態度を養っています。



奥多摩町立小学校2校（古里小学校・氷川小学校）合同で行う学校行事

4年 都内移動教室



5年 伊豆移動教室



6年 日光移動教室



社会科見学



中学校ではクラスメイトとなる同じ町内の同級生と、定期的に交流学习を行っています。



租税教室

交通安全教室

むかし道の全校遠足

登計原に秋探し

わさびの収穫



沢登り



林業体験



水干登山



奥多摩やまめ養殖体験



治助芋堀り

わがまち奥多摩を愛する児童の育成

豊かな自然と奥多摩の地域の力を生かした教育活動



オリエンテーリング

森林セラピー体験

OPT※のトイレ清掃体験

椎茸栽培

はたらく消防の写生会

安全歩行訓練

予測困難な時代を生きる力の育成において

氷川小学校では、予測困難な時代を生き抜く逞しさを身に付けさせるため、3つの力の育成を図ります。

自己有用感を
育てる指導

役割を自覚し、主体的に貢献する力

自分の「強み」を
自覚させる指導

正しく自己を認知する力

多面的・多角的に
考えさせる指導

状況を把握し分析する力



予測困難な時代を生き抜く逞しさ